

創作表現～響～とは



一人一人が、そして全員が輝くように心をついに合わせ、感謝・感動を伝える



観音踊り

菖蒲の前の歴史 詩吟 踊り
地域の伝統の技を受け継ぐ



二代目より続く伝統の曲
菖蒲の前が愛した「我が蘭よ 御蘭宇」を雅やかに表現

雅



毎年行われ感動・感謝の気持ちを伝えることを大切にしている。

学校祭での、6年生が行う太鼓を中心とした演奏は、平成19年より始まった御蘭宇小学校の伝統である。

地域に伝わる菖蒲の前伝説をもとに創作表現したもので、毎年6年生が自分たちのテーマを決め、そのテーマにそって、いろいろな種類の太鼓や琴、鳴り物など和楽器を使い、演奏する。

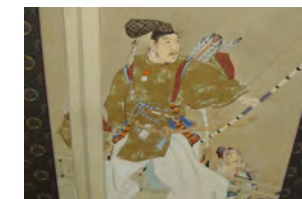
2代目から演奏している「雅」と各年のテーマに基づいた曲の2曲と、「観音踊り」の3部で構成している。

「観音踊り」とは、昔から御蘭宇の人たちの間で親しまれている盆踊りで、地域の方に指導していただき、演奏、歌、盆踊り、詩吟、歴史説明などで表現する。踊りはきれいにしなやかに踊ることを目標に、取り組んでいる。

感動・感謝の気持ちを伝えることを大切にし、6年全員が心をついにして、御蘭宇の魅力を発信し、見ている人々の心に響かせるものが「響」である。

ふるさと御蘭宇 地域を学ぶ

福成寺へ…



観現寺へ…



吾妻子の滝へ



地域から学ぶ

詩吟

「御蘭宇」の詩吟を創作していただく。菖蒲の前の和歌とともに基礎から学ぶ。



観音踊り

御蘭宇に伝わる盆踊り、「観音踊り」の意味を学習し、踊りとうたを、極めるように練習する。



次代へ引き継ぐ



6年生から5年生へ、「響で学んだこと」を伝える。



孟宗竹でつくる竹太鼓、酒都西条の樽太鼓、その他いろいろな太鼓、垂れ幕など響を彩る数々の道具も、地域の方々のご協力です。

響のあゆみ

平成19年
初代～響～

6年生が竹太鼓を中心に～響～をつくりあげた。ふるさと御蘭宇に初めて太鼓の音が響きわたった。



平成20年 吾妻子の滝公園開園記念セレモニー 吾妻子の滝のゆべに参加

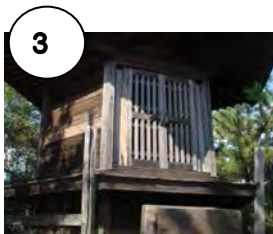


平成22年 御蘭宇にふきわたる烈風を表現し、酒祭りに初参加。サタケメモリアルホールにて公演



平成23年以降 酒祭りでは、東広島市中央生涯学習センターにて公演





吾妻観音（種若丸の墓）

長旅の疲れにより、種若丸は病死。あやめの前は吾妻子の滝に観音堂を造り、慰めました。



源頼政と菖蒲の前（観現寺）

しばらくしてあやめの前は男児を出産。庵を建立して頼政の像を納めました。今の観現寺です。



福成寺

その後、あやめの前は菩提寺として三永に「福成寺」を再建しました。



西妙尼（菖蒲の前）

あやめの前が自ら彫ったという像が福成寺で大切に祀られています。

観音踊り

作詞：平島先生

作曲：北川先生

振り付け：為岡先生

- 一 あー踊る踊りは観音踊り
心揃えて躍りましようや
(アラヤンサノセ ドソコイセ)
ノソノコ ドソコイセ
- 二 吾妻観音、由来をとけば、
源頼政、治承の四年
- 三 宇治の戦に討ち死にされて
残る室人、あやめの前は
四 平家の追手が、急なる故に
忘れ形見の種若丸と
- 五 都はるばる、安芸賀茂郷の
下原村へ落ち延びました
- 六 頼る家臣の猪早太をば
連れて千尋の滝へと来たり
- 七 滝の岩屋へ住むその内に
急な病で種若丸は
- 八 水の流れと岩打つしづき
共に帰らぬあの世とやらへ
- 九 これを哀れみ、あやめの前が
一字を建てて 観音様を
- 十 まつり給いて 詠まれし歌に
吾妻子の名 始まりしという
- 十一 吾妻子や 千尋の滝のあればこそ
広き野原に 末を見るらん
- 十二 種若当時 三才なり
その子のいわれが 三つ子岩
- 十三 滝を見下ろす、小山の上に
残る古墳は東子の墓
- 十四 吾妻子や し昔のゆかりこそ
尚滝つせと落ちひじくなれ

観音踊りとは

地域に伝わる五つの盆踊り歌、信和音頭・三ヶ城節・観音踊り・城跡踊り・名所節の一つで、菖蒲の前伝説をもとにつくられたもの

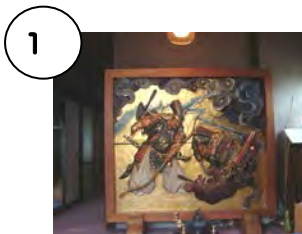
創作表現

～響～

吾妻子や
千尋の滝の
あればこそ
末を見るらん
広き野原の



東広島市立 御菌宇小学校



鶴退治の屏風（観現寺）

時は平安時代、帝を悩ます「鶴（ぬえ）」退治を命じられたのが、源頼政



吾妻子の滝

頼政の妻、あやめの前は3歳の若君種若丸と猪早太の3人で吾妻子の滝へ逃げてきました。



猪早太の墓（観現寺）

側近の猪早太は最後まであやめの前と若君を守り続けました。そのお墓は観現寺に建立されました。



観現寺

長かった源平の戦いが終わり、賀茂一群を賜ったあやめの前は、「我が菌よ、御菌宇」と名づけました。